

「順境の日も逆境の日も」 <先週の講壇より>

「順境の日には幸いを味わい、逆境の日にはよく考えよ。これもあれも、神のなさること。後のことを人に分かせないためである。」伝道の書 7:14【新改訳 2017】

先週は当地では珍しいほどの大雨が降りました。土砂崩れなどの警戒として、テレビやラジオのニュースでは何度も何度も「気を付けてください」と呼びかけていました。日本人と違ってこの地域のドライバーたちは雨に慣れていないので、事故も多くなります。実際、私はその日に教会にいと、消防車や救急車のサイレンがひっきりなしに鳴り響いていました。

日本では雨が降ると、「いやですね、また雨ですかあ」となりますが、確かに当地でも、雨で困ることがこのように多々あります。でもその一方で、乾燥地帯のカリフォルニアにとって雨はまさに恵みの雨。地を潤し、一年間の水道水の源となる、大切な雨でもあります。

人生における逆境の雨は降ってほしくはありません。でも雨降って地固まる、という日本のことわざのように、それが大切な役割を果たすこともあります。逆境も順境も人生には必要、それがなぜあるのかは私たちには計り知れないものですが、神様は必要を与え、確かに人生を導き続けてくださるお方です。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025 年 10 月 26 日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは世の光です。」

マタイ 5:14

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

聖書クラス : 10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

